

議員全員協議会会議録

(令和5年7月28日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会議員全員協議会会議録

本日の会議 令和5年7月28日（金）

招集場所 議員協議会室

出席議員

議長	佐々木 史仁	副議長	鷹野 正志
議員	尾崎 恵一	議員	嘉喜山 茂
議員	池田 栄次	議員	吉田 茂生
議員	少林 法子	議員	石川 秀夫
議員	金繁 典子	議員	原田 達也
議員	中野 光博	議員	山下 正敏
議員	那須 芳人	議員	吉村 直城

欠席議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	本多 幸雄	局長補佐	小松 一恵
局長補佐	藤本 吉信		

説明のため出席した者

なし

本日の議員全員協議会に付した案件

【議会協議】

- 1 議会報告会について
- 2 議員視察研修について
- 3 福島町議会視察研修を踏まえた検討～議会運営委員会抽出の4項目について
- 4 その他

開 会 10時00分

閉 会 11時34分

○鷹野副議長 失礼します。皆さん、おはようございます。

定刻になりましたので、ただいまから第8回議員全員協議会を開会いたします。

まず、議長挨拶、お願いします。

○佐々木議長 皆さんおはようございます。

連日大変な猛暑が続いております。また、各地区で夏祭りも、平常どおりに行われているようでございます。また、議員の皆さんにも、何かと御協力のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。また、コロナが若干徐々に増えてまいりました。議員の皆さんもぜひ感染対策予防に御協力をよろしくお願ひいたします。簡単ですが、挨拶といたします。

以上です。

○鷹野副議長 そしたらこれからは、議長の進行でお願いいたします。

○佐々木議長 まず1番の議会報告会についてを議題といたします。

(1) の那賀町議会、車座会議の方式について、事務局の説明を求めます。

○本多事務局長 説明させていただきます。議会資料の1番を御覧ください。

先般、議会活性化特別委員会の最終報告で、那賀町議会の車座会議の方式により少人数で町民と議員が活発に話し合い、課題を集約して政策課題へつなげられるような意見交換会を団体や地域を対象に実施してはどうかという、そういった報告がございました。

そこでですね、那賀町議会の車座会議の方式について、簡単に説明をさせていただきます。

資料1の上段のとおりなんですけども、那賀町議会におきましてはですね、町民全体ということではなくて、地域の団体であるとか、地域住民を対象として車座会議の議会報告会を行っております。配席につきましては、議員と住民との対面ではなくて、3班から4班に分かれて意見交換を行うというスタイルを取っております。

テーマを1つから3つ程度定めまして、班ごとに意見交換を行い、意見を取りまとめて全体会の中で最終的に発表するというスタイルを取っております。

その他ですね、その車座会議終わった後、終了後に議員だけが会場に残って、出された意見・要望等を整理して意見をまとめるという作業を行っております。

議会資料の1の下段のとおり、車座会議での御意見への対応というところを見ていただきたいんですけども、そこで出された意見についてですね、再度議会の中でこういった対応ができるかということについて協議をした後、それをまとめて団体であるとか地域に対して議会の対応ということでお返しをしているといった流れとなっております。

では、資料の裏面を御覧ください。

これにつきましては、那賀町議会に研修に行かれてない議員の皆様にも分かりやすいように、イメージしやすいようにですね、那賀町議会の方式を、愛南町議会でも丸々取り入れた場合はこのようになるのかなというイメージとして、作成をいたしました資料でございます。

まず、全体の司会進行としまして副議長のほうから開会、そして次に議長挨拶、そして議員紹介ってことで、副議長のほうが議員名簿に沿って議員を紹介して出席者数の報告をするという流れとなります。

続いて議会の活動状況報告ということで、議長のほうから5分程度の報告を行っていただく流れを考えております。

2番目に、実際の意見交換になるわけなんですけども、これは参加人数によって班編制の人数は変わってはくると思うんですけども、大体議員2、3名程度はですね、班の中に入るような、配置するような形になるのかなというふうに考えております。

その中で班ごとに意見交換を行うんですけども、意見交換を行う方法について、そして班編成について、まず副議長のほうから説明があつてですね、実際の意見交換に入っていただくことになるんですけども、その意見交換の方法というのが、まず、班内で自己紹介を大体5分程度、そして進行、記録、発表者を決めていただいて、そういう役割について確認をしてもらう

ということになります。進行についてはテーマに沿って意見交換を進めるってことですね。記録については、意見を聞いて適宜要約して記録を残すと、発表者については発表内容をまとめて全体会の中での発表を行うという役割だろうかと思います。

続いて実際の意見交換が大体20分程度かなと。その後、意見を取りまとめて、最終的に発表準備にそれぞれ10分程度かかるのかなと考えております。なので大体意見交換の時間的には1時間程度になるのかなというふうに想定をしております。

最終的に3番の意見発表の中で各班で取りまとめた意見についてですね、それぞれ意見発表していただくことになろうかなと思っております。

4班できた場合は、大体5分で20分程度になるのかなと。最終的に議長がまとめと、そして終わりの挨拶と。そして最後は副議長によりまして、閉会といった流れになるのかなということ想定をしております。

この中で、最初に議長の議会の活動状況報告ということを入れさせていただいておりますけども、というのがですね、活性会委員会の最終報告の中ではですね、今の議会基本条例がですね、議会計画とか議会経過とか、議会の報告について必須となるような条文となっておりますので、これについて改正をしてはどうかというような報告となっておりますけれども、こういった形で冒頭にですね、議長等から議会報告を行っていただければ、特に議会基本条例の改正も必要ないのではないかとということで、こういった案といいますか、こういった流れをですね、想定をさせていただいております。

以上、説明とさせていただきます。

○佐々木議長 事務局から説明がありました。

今の説明の中で案というかイメージ、イメージなんですが、今年度の開催の愛南町議会報告会において、会の方式、特別委員会の報告にある車座会議のように、小グループに分かれて意見交換をする方法について意見を聞きたいと思います。

何か意見ございませんか。ありませんか。

嘉喜山議員。

○嘉喜山議員 この2ページなんですけど、あくまでこれはイメージですよ。思うのが、やはりこれは意見交換するのであれば、対象をやはり団体なりグループなり、何かのテーマによって絞らなければ、なかなかグループに分かれても意見交換できないんじゃないかなと、私は思います。

もう一つが、意見交換、この例は4班に分かれてますけど、これでいくと、結局その中で進行役、記録役、発表者を決めなければならないとなります。ということは、記録とかそういった方については、ちょっと最初っからこの4班に分かれてするとそれぞれ役割が出てくるんで、ちょっとハードルが高いんじゃないかなと思います。最初はやはり、やるにしても2班程度にしてすべきじゃないかなと私は思ってます。

以上です。

○佐々木議長 ほかに意見ございませんか。

金繁議員。

○金繁議員 これ議会活性化委員会の報告としてこの車座会議の方式で、愛南町議会もやってみてはどうですかという提案でした。今、嘉喜山議員がおっしゃられたように、委員会としてはやることを前提として、皆さん前提として報告してますので、委員会以外の方で、もしもこの車座会議方式について御意見あれば、そちらの方の御意見もいただけたらと思います。

今、嘉喜山議員がおっしゃられた、やることを前提として、まず最初は2つぐらいから始めたほうがいいのかという点については、参加される人数にもよると思うんですけど、100人ぐらいいっちゃって、それをまた2つではとても難しいかなと。たしか車座会議では7人ぐらいずつのグループに分けてたと思うんですけども、それは町民の方がもう3、4

人でも、議員も3人ずつ分けてこの役割分担をするということだったと思います。

その点については、皆さんでやりやすい方式をここで議論していただけたらと思います。

以上2点です。

○佐々木議長 山下議員。

○山下議員 これまず、車座でやるかやらないかを先に決めて、決まった時点で今の議論をしていたほうがいいんで、先にそれを決めたらどうですか。

○佐々木議長 それでは、これどういう方式でやるか、最初どの、まあ言うたら団体ごとにあれして呼んでテーマを決めてやるのか、どういう方式でやるかというのをまず、必ずそれでやらないかんで、どういう方式でやるかいうのをまず決めていただきたいと思います。

○山下議員 方式やないんよ。車座でやるかやらないかということなの。

○佐々木議長 車座でね、車座でやるかやらんか、今までどおり、従来どおりのやり方でやるんか。那賀町をちょっとモデルにしたこういうやり方でやるのか。どっちかを決めていただきたいと思います。

金繁議員。

○金繁議員 すみません。それでちょっとおさらいというか経緯について、活性化委員長であった私から説明、少しさせてください。

もともと議会報告会というのは愛南町議会基本条例にも年1回以上行うということで行ってきました。たくさんの町民の方、多いときは100人以上いらしていただいたんですが、どうしても議員が全員並んだ壇上からお話をして、そして100人以上の方から手を挙げて、質問できる方もいらっしゃるし、勇気がなくて話せない方もいる。とてもなかなか双方向の政策提言にまで結びつく話合いというのが難しいという問題意識がありまして、前原田議長もこの町民との意見交換会、議会報告会については見直していきたいということで、私たち、そのことをテーマに、議会活性化委員会でこの那賀町、それから勝浦町を視察してきました

従来のやり方で行いたいという方もまだいらっしゃるかもしれませんが、一応そういう経緯があって視察してきて、議会活性化委員会としては、この勝浦町のような車座会議、町民と議員とが膝を突き合わせてテーマについてしっかり話し合い、政策提言に結びつく、ちゃんとその出された課題について原因と解決策を洗い出して、議会としてアクションをしていくというやり方で行いたいということでした。

すみません、経緯を説明させていただきました。以上です。

○佐々木議長 ありがとうございます。ほかに意見ございませんか。

石川議員。

○石川議員 議会報告会ということで、参加いただいた住民の方々の御意見をですね、どうやって拾い上げるかということで、1つの方法として、車座会議という方法があるということで、那賀町のほうにですね、私も視察に行ってきたわけなんです、せっかく住民の方々が足を運んでいただいて、一度も意見も言えずに帰ってですね、これやったら来ることなかったなという思いをされて帰るのか、それともですね、やっぱり住民の方々の御意見をですね、小さい声から大きい声までですね、やっぱり拾い上げる方法として、私はこの車座会議というのは一度試してみる必要があるんじゃないかなと。せっかくですね、住民の方々がですね、2時間程度、時間割いていただいてですね、その場所に足を運んでいただいて、やはり来ていただいていることは何かしゃべりたい、意見を言いたいという方の声をですね、やっぱり聞くべきじゃないかなということで、私は車座会議は一度試してみる必要があると思います。

それともう1点は、各種団体に絞るのか、それとも地域ごとにやるのかっていう、ここの論点もあろうかと思うんで、そのあたりもやっぱりどういう形で地域ごとだったら何回も開かないといかんということにはなろうかとは思いますが、住民の方々の意見を細かく聞くにはですね、回数を増やしてでもやったほうが、私はいいんじゃないかなというふうに思っております。

以上です。

○佐々木議長 ほかにございませんか。

少林議員。

○少林議員 今ほとんど石川議員に全く同じことを言われてしまいましたが、この2年間、議会報告会を見てきて、何か私たちは町民の言うことを取り上げて、その代弁者としてやっていくはずだったのに、何か対立的だなということをととても強く思いました。このやり方、やっぱり変えんとお互いにとって有益ではないなということで、新しいこのやり方、一緒になって町民の方々と考え合い、意見を拾い合うという、これを新しく少しでも変えてみてはどうかと思います。

またやってみて愛南町らしく、その後、形を変えることもできますので、ぜひ変えることを提案いたします。

○佐々木議長 ほかに意見ございませんか。

那須議員。

○那須議員 車座会議をやることには賛成をしております。ただ、愛南町も広うございますので、御荘文化センターに1か所に来いというのは、なかなか遠方からは来れないので、その辺はこっち側から出向くということで配慮をしていけばいいと思います。

それで今までは何でも言ってくださいということで受け入れてたんですが、私たち議員にも限界ありますし、執行権もございませんので、そこでなかなか判断はできないと。平成25年、26年とテーマを決めてありましたね、サンパールですけれども。あのようにテーマを決めて、議会は2つの委員会がございますので、それに沿った形で子育て支援であるとか、あるいは産業振興であるとかといったものを、テーマを決めてやらないと、何でも聞きますよでは本当に雑談になってしまいますので、そういう形で、私はテーマをまず決めて、車座で、車座になるのかどうか分かりませんが、そういう形にすれば、内容のある報告会になるんじゃないかなというふうに思います。

○佐々木議長 はい、ありがとうございました。

ほかに意見。尾崎議員。

○尾崎議員 私も皆さんと同じように、やっぱり今までの形では十分な町民の方の声が聞き取れない部分があるので、この車座の方式です、少人数で町民と議員が活発に話し合いをして、その中で課題を集約して、具体的な解決策までしっかりと我々受け止めて議論をして、最終的に政策提言にまで持っていけるような、そんな意見交換会ということで、ある程度テーマを決めて、団体と、また地域の方を対象として、複数回定期的にやったらいいかと私は思います。

○佐々木議長 ありがとうございます。吉田議員。

○吉田議員 私も基本的にはですね、車座会議でしたほうが意見交換会としては十分住民の意見を聞けるかなというふうな気がします。

ただテーマとかですね、そういったもので団体にするのか、町民にするのか、仕分をきちっとしていかないと、やっぱり前と同じような結果になってしまうので、そこはしっかり場所場所です、回数ごとにテーマをきちっと決めて、対象を決めてやればですね、多分こういう車座会議のほうが今までの報告会よりも有効に生かせるんじゃないかなというふうな気がします。

○佐々木議長 ありがとうございます。池田議員。

○池田議員 私も同感です。ただ、そのときに吉田議員言われたように、テーマと、地域にするのか団体にするのか、そういうことをちゃんと決めてやらないと、またこの時間である程度の意見の集約をしないといけないということで、そういうことに留意、そういうことをきちっと決めてやれば、車座会議、町民の方々の意見を的確に議員として把握することができると思います。

○佐々木議長 原田議員。

○原田議員 今、車座会議をするかしないかというのを議論してるんで、私は車座会議をするのに賛成です。

○佐々木議長 あと意見まだ言うてない方、中野議員、どうでしょうか。
中野議員。

○中野議員 車座か全体でやるかという問題よりも、どちらでも僕は別にいいと思うんですが、まずテーマを、車座でやって何でも聞きますよってそうやなくて、議員というのは、小さい意見を聞いてその事前に今度は意見交換会で何を取り上げるか、今一番の関心事は何かいいことを絞ってやらないと、何でもしていうたら何もまとまらずに、少人数でやるとなるといろんな意見が出るだけの話で、そういう部分になってしまうんじゃないかと思うんで、まず今までずっとやってると、図書館のときなんかはそのテーマがあったりして、意見もいろんな意見が出ますけど、ただ何もなくていきなり意見ないですかではできんような話、意見交換会になってしまうんで、まずそのやる方向として、事前に何が今一番関心事なのか、それに絞ってやるべきでそれが一番大事ではないかなと思います。意見というのは、それぞれの議員、あるいは小さい意見を多分集めてきて、今回は何しますかというのを事前に絞ってやるのが一番大事なことで、車座かそうでないかというよりも、まずそこだと思います。まずテーマを絞って、一番の関心事でやるべきやと思います。

そういうときの方がやっぱり意見もいろいろ出ますし、それに關心あることを絞っていかないと、何でも意見聞きますよって、もう収拾のつかんことになるような感じがします。それが一番まず、要点を絞って関心事が何なのかいうのを事前にやっぱりテーマを決めてやるべきだと思います。

○佐々木議長 吉村議員、何かありませんか。

○吉村議員 これ車座やるかやらんかは、人数にもよると思うんですよね、出席の。出席者が少人数なのに、議員が細部に分かれてやってもどうかなと。その辺がちょっと心配事で1つあるんですけども、やるんであれば議会報告会、今までもやってきましたけども、図書館のときは意見相当出しましたけども、どっちがいいと報告会で住民の意見を皆さんの意見を聞きよったら、意見を吸い取る吸い取る言いよりですけども、意見そんなに上がらんでしょう。

だから、車座にすれば意見は上がってくる。全体よりも。だから報告会というよりも、要は交換会なんですよ、住民との意見交換会。そっちのほうなんですよ。報告会報告会言いますけども。そういうことなんで、あれは基本条例では報告会いうことにしてますけども、その辺で一番そういうことでやっていくのであれば一番いいと思います。

それと、これちょっと2ページですか、これ見よったんですけども、さっき局長から説明あったんですけども、車座に分かれてこれ最後に議長取りまとめ、取りまとめできますか。例えばの話。とてもやない、できんのやない。その場で出たやつを10分か20分、その辺ちょっと。

(発言する者あり)

○佐々木議長 最後に鷹野副議長、お願いします。

○鷹野副議長 私も車座のほうが住民の意見、参加された人の意見は吸い上げ、吸い上げいうか聞くことができるんで、一度やってみることはいいことだというふうに思います。
以上です。

○佐々木議長 ありがとうございます。

大体皆の意見が出そろったみたいなので、車座方式でやるかどうかいうの、ほとんど車座いう意見が出ましたんで、車座方式で一応案としてやらさせていただきます。

それから石川議員のほうからも意見がありました、団体、どういう団体を対象にするのか、まず、それをちょっと、まずテーマですね、まずテーマと、どういう団体を対象にするのかいうのをちょっと決めていただきたいと思います。

まず初めに、第1回目やる場合としたら、どういうテーマで、どういう団体に。

石川議員。

○石川議員 私が先ほど言ったのはですね、地域ごとにやるか、団体ごとにやるかということで、この団体、例えば商工会やったら商工会で、そういう団体にするのか、2、3の団体にするのか、地域ごとにやるのであれば、複数回にわたってですね、地域を回るという方法もあるかなと思うんですけども、今年においてはどうするかっていうのは、私はまず決めるべきじゃないかなと。複合でもいいんですけど

○佐々木議長 本多事務局長。

○本多事務局長 すみません。まずですね、事務局のほうからはですね、まずこの議会報告会をいつするのか。まずですね、そうして議員派遣をですね、議決の必要があるので、その日程を決めた後にですね、今言ったような具体的な対象であるとか、テーマであるとかについて協議していただければどうかなというふうには考えておるんですけども、事務局としましてはですね、10月、11月あたりに例年どおりなんですけども、議会報告会を行ってはどうかというふう考えております。

その場合はですね、議員派遣の議決を9月の定例会のほうで行ってはどうかというふう考えているんですが、いかがでしょうか。

以上です。

○佐々木議長 事務局のほうから説明がありましたが、この件に関して何か意見ございませんか。今のそういう事務局の説明でよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○佐々木議長 そしたらやり方で、まず団体をどういう団体にまず絞るかということなんです。

原田議員。

○原田議員 先ほどもこの意見ちょっと出しましたが、平成25年に職業別でやっておるんですね。水産業、農業、商工業やったですかね。産業別に1回やってみてはどうでしょうかね。こちらから御案内して、大体の産業別、団体もあろうかと思います。そういうのに連絡して参加をしていただくというのはどうでしょうか。

○佐々木議長 原田議員からそういう意見がありましたが、どうでしょうか、産業別に。

那須議員。

○那須議員 かつてそういうことをやって、1回ではなかったですよ、何回も分けてやりましたが、結構よかったと思います。まずテーマですけれども、そこを決めていけないといけないし、人口減少であるとか産業振興であるとか、福祉、子育ていろいろとございますね。それによって場所も変えたらいいんで、私たち久万高原町に行ったときには子育て支援で久万高原の高校でやりましたよね、あのときは。市民ホールではなくて。そういうのもありますので、どういうテーマが今議論すべきなのか、議会は理解しないといけないのかっていうのを幾つか出してもらって、その中で、おのずとスケジュールも決まってくると思うんですが。

○佐々木議長 ありがとうございます。尾崎議員。

○尾崎議員 私も原田議員のおっしゃるとおり、産業別にですね、それぞれテーマは決めるという形がええと思います。そして、その産業に関連する住民グループですね、多分愛南町でいろんな住民グループをリストに上げたらかなりあると思うんですよ。そういう関連するグループをまた招聘してやればええのかなと思います。

それと、年間の中で定例会も4回ありますけれども、委員会のほうでも提案しましたように、年4回程度ですね、それを定期的にやっていけば、十分住民の声も聞けるかなと思います。

○佐々木議長 ありがとうございます。

ほかに意見ございませんか。

金繁議員。

○金繁議員　ちなみにですね那賀町の場合は、町民の方たちからこういうことを話し合っほしいという要望を受け付けているそうです。その要望には全て答えるようにしているということでした。

先ほど産業という話も出て、特に今、農業、河内晩柑の寒波の影響とかで困っているっていう声もたくさん聞きますので、特に農業とか産業も大事だと思います。ぜひやりたいんですけども、一方で南宇和高校の存続とかに関して高校、中学校の保護者の方たちが何とか自分たち保護者、そして地域の立場としてできないかという声もあり、関心も結構高いです、存続に関して。なので、先ほど那須議員がおっしゃられたように、高校でそういうのをやるというのも、子育て世代という、産業とは別に子育て世代の話を聞くというのもいいと思います。

先ほどの最初の話に戻りますけど、中野議員がおっしゃったように一番町民の関心事は何かという観点からすると、町民の要望を聞くというのもいいかなと思います。だからここで決めてしまうんじゃなくて、皆さんそれぞれ町民の方たちからも聞いて、幾つかみんなで出し合っ、まだ先なんで10月、11月、テーマを書き出して、その後また後日検討したらどうでしょうか。

○佐々木議長　ありがとうございます。

ちょっと待ってください。石川議員。

○石川議員　このテーマをこちら側が決めるのではなくてですね、団体が決まれば、産業別にしたら産業別にしてですね、その団体に対して、テーマを1個から3個ぐらいまで提案いただいてですね、それについて私は議論していったほうが、逆にその団体が困っていることが十分理解はできるんじゃないかなと。それを車座の会議でやっていったほうが、こちら側がテーマを決めるんじゃなくてですね、各種団体から提案いただいて、テーマを決めていただくということにしたらいんじゃないかなというふうに思います。

○佐々木議長　那須議員。

○那須議員　尾崎議員、先ほど言われましたけれども、私も大賛成です。ただ、先ほど幾つか並べましたけど、産業振興であるとか、少子化対策であるとか、福祉であるとかっていったものを、この議会は考えなければいけないので、今年、議会報告会でこれをすると。来年はまた新たに考えるんじゃなくて、あと残りの部分で、これとこれとこれをやると、今回は2つなら2つ、2日間にわたってやるとかですね、そういったスケジュールをまず決めないといけないんじゃないですかね。今思いつき、思いつきというのは失礼ですけども、これをする、来年は水産業をするとかっていうんじゃなくて、やっぱり幾つかのテーマの中で、最初に取り上げるのはこれ、来年度はこれを2つやるとかっていうふうな形のほうが、僕は丁寧に対応できると思うんですけども。

○佐々木議長　ありがとうございます。吉村議員。

○吉村議員　今やり方こうこうでって意見出てるんですけども、さっき局長が説明したように、この車座でやるいう方向は決まったんで、時期的にもまだ先なんで、これはこれで打ち切って、次に行ったらどうですか。

○佐々木議長　吉村議員のほうからそういう意見が出ましたので、まずいろいろテーマがあると思うんですね。そのテーマを、次回の協議会までにですね、各議員さんが考えていただいて、そのテーマに沿って、産業別、どこにどういうふうにするのかいうのをね、今日はちょっと決めにくいでしょう、事務局長どうですか。

○本多事務局長　先ほどですね、10月、11月ぐらいに開催っていうのが決まったんで、そこを目指して協議していただければと思います。

以上です。

(「いいですよ」と言う者あり)

○佐々木議長　いいですか。そうしたらそういうことで各また議員さんが十分考えていただいて、

その方向で車座方式でやると、またテーマとかそういうのは各、次の協議会までに考えていただくということでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○佐々木議長 その件は、1番は終わりたいと思います。

2番の議員視察研修について事務局の説明を求めます。

本多事務局長。

○本多事務局長 では、議員の視察研修について説明をさせていただきます。

資料にございますとおり、9月26日に全国町村議会の議長会主催の議会広報研修会がございます。これは東京都のほうでございます。

これにつきまして、議会だより発行準備特別委員会のほうから、この研修につきまして、受講の意向がございました。この議会の議会広報研修会では、別紙資料2のとおりですね、3人の講師の方の講演がございます。ただ、議会だよりの発行については先般決定したばかりで、準備特別委員会のほうで適宜準備のほうを進めているんですけども、そういった中なので、議員特別委員会のメンバーだけではなくてですね、議員全員で参加してみたらどうかというふうに考えております。

ただその際ですね、東京への出張にはなるんですけども、せっかくの機会でありますので、先般ですね、今日の新聞にも出ておりましたけども、海業に関する先進地があるというふうに聞いておりますので、今後、議会として海業に関する事業でありますとか、予算でありますとか、そういったことで協議をする機会というのが増えますので、そういった先進地についてですね、現地視察をして見識を深めてもらってはどうかということで提案をさせていただいております。

それが海業の取組事業に関する視察ということで、これはあくまでもまだ候補なんですけども、千葉県の大網町の大網交流施設・道の駅、保田小学校、その他保田漁港とかですね、その他について現地視察をしてはどうかということで、提案をさせていただいております。

ちなみに保田小学校なんですけども、この小学校はですね、小学校の雰囲気を残してリノベーションをした道の駅となっております。2階は学びの宿として宿泊可能で、体育館はきょうなん楽市として地域の農産物が集まるマルシェ、温浴施設や食堂などもあります。大網町の人、物、歴史、文化を集約させた地域活性化の交流拠点として、今、施設が設置されておりますので、そういった点について見識を深めてもらってはというふうに考えております。これはあくまでも案でありまして、もし研修に行くということであるならば、海業の推進室の浜辺室長が携わった施設、または事業もあるそうなので、そういったことを中心に視察をしていただけたらどうかというふうに考えております。

そういったことなので、この保田小学校以外の施設も加わったり、もしくはまた保田小学校以外のものになるかもしれません。これはあくまでも今の段階の御提案でございます。

この視察研修の経費についてなんですけども、今度の9月補正の対応ということになります。議員全員を対象とした議員研修につきましてはですね、昨年北海道のほうの自治体のほうを現地視察させていただいておりますけども、2年に1回の実施ということをしてもらっております。なので2年連続ということになりますので、今回議員全員で行った場合はですね、令和6年度のそういった視察研修については行わないという方向で考えております。

なお、東京の広報の研修なんですけども、これが9月の26日、そして海業の関係は翌日の27ということになるんですけども、26日のですね、広報の研修が午後1時からということなので、日程としましてはですね、前日、9月の25日にこちらのほうを出発して前泊ということで、2泊3日の行程を予定をさせていただいております。

仮にこの視察研修、実施ということになりましたら、補正予算も上程しますし、議員派遣ということで、9月の定例会のほうで議決をさせていただく予定としております。

以上です。

○佐々木議長 事務局から説明がありました。

この件に関して、全員で議員研修を受ける件に関して、また明くる日の千葉県の視察先について御意見ありませんか。よろしいですか。

尾崎議員。

○尾崎議員 ちょっと確認なんですけれども、9月26日のこの議会研修会ですね、以前全員で行くのであれば、2日目を産業総務文教の常任委員会の所管事務調査として、2日目を当てたらどうかと、関東近隣でっていう話ではあったんですけれども、それはもう止まりになったということになるんでしょうか。

代わりに海業として全員が行くということに今なっておりますけれども、その海業に当たってもですね、今回12の自治体が海業の振興モデル地区に指定をされて、その1つが愛南町ということなんですけれども、この今回行く視察先、その12の自治体の中には入ってないんですが、ここもやっぱりそういった海業の取組をこれからやるということで認識してよろしいでしょうか。

○佐々木議長 本多事務局長。

○本多事務局長 説明させていただきます。

保田につきましてはですね、海業の関係で浜辺室長のほうがですね、その事業等に関わっていたということで、いわゆる先進事例の1つとしてというふうに考えております。

以上です。

○佐々木議長 よろしいですか。

尾崎議員。

○尾崎議員 モデル地区ではないんですよ。ではなくて、既に取り組んでおるという自治体ということで認識してよろしいでしょうか。

○佐々木議長 本多事務局長。

○本多事務局長 そのように認識しております。

○佐々木議長 よろしいですか。

金繁議員。

○金繁議員 まだ視察先について御意見というか要望とかを聞いていただける余裕があるようでしたら、せっかくなので千葉県のいすみ市というところが、有機農業に非常に力を入れておりまして、今お米の価格がすごく低くなっているんですけど、有機という付加価値をつけて学校給食の買取りも市価の2倍3倍で買い取っていて、農業が非常に盛んになってきて全国から視察に來ています。ぜひ、いすみ市も検討に、候補に入れていただけたらと要望です。

○佐々木議長 事務局長、日程的に大丈夫ですか。

本多事務局長。

○本多事務局長 27日の1日ですね、夕方の飛行機に間に合うようなスケジュールを考えておりますので、その範囲内でちょっと考えさせてください。

以上です。

(発言する者あり)

○佐々木議長 後日また・・・。

ほかにありませんか。

(「ありません」と言う者あり)

○佐々木議長 ないようなので、2番を終わります。

3番の議題を説明をいたします。福島町議会視察研修を踏まえた検討、議会運営委員会抽出の4項目についてを議題といたします。

①全ての会議を公開。テレビ、インターネットで録画中継（会議は議場で行う）。

②議会モニター（学識経験者、町民による諮問機関）。

③傍聴規則の改正（傍聴者に名簿を書かせるなど）。

④政務活動費。

以上、事務局の説明を求めます。

本多事務局長。

○**本多事務局長** 今、議長のほうから紹介をいただいた4点について、先般の議会運営委員会の中で再度この4点についてですね、研修を踏まえて、愛南町議会に取り入れてはどうかということで検討をするということで、その検討方法については、全協でっていうことで確認をされた事項でございます。

ただその中で、3番目の傍聴規則の改正につきまして、傍聴者の取扱いの部分なんですけども、これにつきましては規則の改正ということで、これは規則の改正になりますと、議会運営委員会の範囲になりますので、これにつきましては、議会運営委員会のほうで協議することになるのかなというふうに考えております。

以上です。

○**佐々木議長** この件に関して何か質問ありませんか。ありませんかね。

石川議員。

○**石川議員** まず1点目のですね、全ての会議を公開ということなんですけども、議員のですね、自由な、自由というか、活発な議論を進める上で、全ての会議を公開する必要性があるのかなと。逆に議員によってはですね、発言するのを控えるとかですね、そういう方も出てきてもおかしくないなというふうに思いますので、私は今までどおりですね、せっかく傍聴も自由なので、あえてインターネットとかですね、公開する必要性は私は感じてません。

あと2番の議会モニターはですね……

○**金繁議員** すみません、1個ずつやったほうがいいと思います。

○**佐々木議長** 尾崎議員。

○**尾崎議員** これ1番、私は会議の内容については、テレビ、インターネット等で大いに中継して結構かと思います。それぞれ我々は責任を持って発言をするという立場なので、発言に対して付度する必要もないし、それは駄目やと思います。

ただ、会議は議場で行うという、この部分、全ての会議を議場で行うということなんやろうと思うんですけども、やっぱりあの議場というのは、議会を行う場所であって、全ての会議を行う場所ではないと思います。やっぱり議場というのは神聖な場所ですので、この点についてはやっぱりけじめというものをしっかりと認識をして、通常の委員会等は別会場で、議会は議場で行うというように、ここは愛南町従来のやり方で私はいいと思います。

○**佐々木議長** ほかに①について意見ありますか。

本多事務局長。

○**本多事務局長** すみません、この4項目についてですね、様々な御意見があると思います。ただ、一応今回はですね、これが議会運営委員会の中で確認されて、今後、全員協議会の中で議題として上がっていきますよという報告とさせていただいて、今後ですね、別の機会にまた全員協議会の中で1項目ずつ議論してはどうかと思うんですけど、いかがでしょうか。

（「はい」と言う者あり）

○**佐々木議長** それでよろしいですか。

金繁議員。

○**金繁議員** 今日は検討をせずに、次回の全協でやるということですかね。

議運で全部4つともするんですか。

（「次回」と言う者あり）

○**金繁議員** 次回の全協です。

(「次回の全協」と言う者あり)

○金繁議員 次回の全協はいつですか。

○佐々木議長 日程的にはいつでしたかね。

(「8月」と言う者あり)

○佐々木議長 金繁議員。

○金繁議員 これ4つ、結構議論、時間かかるかなと思うんですけど、30分か1時間弱かかるかと思うんですが、8月の終わりの9月議会のね、執行部が議案を出してくるときの機会にやっ
てはちょっといっぱいになるかと思うので、別の機会、全協を開いてやったほうが
いいと思うんですけど、今日でないのであれば。いかがでしょうか。皆さんの御意見。

○佐々木議長 事務局の日程どうですか。

本多事務局長。

○本多事務局長 日程はですね、皆さんの都合のいいときでもう調整をさせていただくんですけど
も、現在の日程としましては、先ほど出ました8月21日が決定しているだけです。

以上です。

○佐々木議長 よろしいですか。

金繁議員。

○金繁議員 8月の末ですと、先ほど言ったように、議案だけでも午前、午後にも行くような非
常に重い会議になるので、これをまた議論するって大変なので、それだったらむしろここで1
つでも2つでも議論して決めておいたほうがいいのではないかなと思うんですけど、軽くしとい
たほうが。いかがでしょうか。

今日、例えば1つ、2つ目までやるとかしませんか。3つ目は今日議運でやることになって
いるので、議運で話すことになると思うんですけど、それ以外全協でするんだったら1と2と
4だけなので、ここである程度議論しませんか。しておきませんか。

○佐々木議長 金繁委員から意見が出ましたが、この件に関して、ほかの議員さん、どうしましょ
う。

那須議員。

○那須議員 今もう今日やらないということになったので、ただ、ある部分、議員協議会の招集の
権限、議長にございますので、21日にこだわらずに前でも後でもその機会を見つけて開いた
らどうですか。

○佐々木議長 そういう方向でもよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○佐々木議長 よろしいですか。じゃあ日程を空いた日に前後、丸一日取ってやってもいいですよ
ね。

そういう方向でやらせていただきます。よろしいですか。

それでは3番を終わります。

続きまして、4番その他、(1)の令和5年度第1回町議会議員研修会について、日時は8
月4日金曜日、午前9時出発、旧消防跡地駐車場。事務局のちょっと説明をお願いいたします。

本多事務局長。

○本多事務局長 この研修については、今、議長のほうから御紹介があったとおりでなんですけども
サイドブックの19の研修計画、8月4日、第1回町議会議員研修会に掲載をしております。
8月4日の当日につきましては、消防署跡地の駐車場を9時に出発する予定としております。

続きまして愛南町議会の議員研修、8月8日なんですけども、これにつきましては、研修の
通知はですね、サイドブックの19研修計画、同じく8月8日、愛南町議会議員研修に掲載
をしております。

8月8日の火曜日10時から大会議室のほうで早稲田大学マニフェスト研究所、中村健先生

をお招きして議員研修を行います。質問事項につきましては、事前に募集したんですけども、掲載のとおり事前に送付をしております。また、傍聴につきましても、中村先生のほうから一般傍聴の許可をいただいておりますので、研修当日は一般傍聴席を用意しておきたいと思っております。

また、先般ですね、議会だより準備特別委員会のほうで議会だよりの編集要領であるとか、そういったことについて今検討中でありまして、検討経過のものがあるわけなんですけど、その資料につきましても、中村先生のほうに事前にお送りして御意見を伺えるような機会を設けたらと思っています。

以上です。

○佐々木議長 事務局から説明がありました。

1番、2番ともこれでよろしいですかね。

○鷹野副議長 8月4日の服装だけちょっと確認。

○佐々木議長 事務局長、どうですかね。

○鷹野副議長 何年か前はもう皆さん、このポロシャツで統一したと思うんですよ。

○佐々木議長 自由で。

○鷹野副議長 もう自由にしますでいいんですかね。

○佐々木議長 夏服の自由。あんまり派手にならないように。

それでいいんですかね。事務局長いいんですか。

そういうことで、よろしく願いいたします。

1番、2番は終わりました。

(3) その他について何かございませんか。

山下議員。

○山下議員 ちょっと提案があるんですが、この改選前の議会、1個前の議会ですよ。活性化特別委員会で話が出た話なんですけど、その中では検討項目には上がらなかったんですけど、町長選と議長選のある、議員選挙の同日選挙について、これをやってはどうかという話が出たんですけど、私、提案なんですけど、これ古い議員の方はよく知ってるんで、平成16年の10月1日に、5か町村が合併しました。本来ならば、本来ならば、町長選と議員選挙同日選挙が建前なんですけど、その当時任期があと在任が、2年あるところもあれば……、私語をやめてください、あれば、6か月というところで、これ国のほうで在任特例ということで、7か月の猶予を延ばして4月に、10月1日から7か月後の4月に議員の選挙を行いました。

これ在任特例なんで、本来ならば普通どおりに私は戻すべきだと思っちゃったんですよ。これあの7か月の差で何がメリット、提案理由かというのと、やっぱり1回の議員選挙、二千四、五百万かかるんですよ。それを同日選挙にすると、その分が浮く。この財政厳しい中で、議会では何ができるかというとなかなかできることは少ないんで、歳入を増やす、これはとてもできないんで、歳出を減らすことはこういう取組でできるんで、私これ協議なんで、これを協議していったら、決定になるのかならないのかまだこれ先のことなんで、この話合いをしていったらどうかという提案です。

以上。

○佐々木議長 提案説明がありました。

この件に関して何か御意見ありますか。

吉村議員。

○吉村議員 実は、これ若い議員さんはあれなんですけども、私何年か前にこれ協議会の席で出したんですよ。出したんですけども、決までは取らなかったけども反対が多くてそのままになった。そのときも私言ったんですけども、要は、それを決めるのは半年議員が腹くれば済むことなんです。半年前倒しすれば。要は議員の自覚で、これ済むことなんで、それは今日テ

ーマで、テーマ言うか今意見が出たんですけども、これはまだこれから議長主導で、また意見が出たんやけん協議したらええことなんで、でええんやないですか。

○山下議員 私はそういう提案なんです。

○佐々木議長 分かりました。

金繁議員。

○金繁議員 私も提案です。議論することいいと思います。それでメリットとしては、予算的なことだと思います。デメリットはないのかという点で、例えば参議院と衆議院の同日選挙って憲法上は疑義があると。やっぱり民意を忠実に反映するためにはずらしましょうという考えがありまして、せっかく8月4日に大学の先生もいらっしゃるので、中村先生にも、町長選と町議選の同日選について、憲法的にはどうなんですか、何か法的な問題はないですかというようなこともきざつくばらんにお聞きしてみたらどうでしょうかというのが提案です。

○佐々木議長 石川議員。

○石川議員 これはもともとその特例で……、ちょっといいですか、私語。

同日選をですね、これはもう先ほど山下議員が説明された特例で認めていただいてですね、本来だったらもう今までにですね、同日選挙にしないといかんということの説明がありました。それと併せてですね、これやっぱりもう何年ももう2,400万余分に払っていくのか。今までもですね、本来だったらその76人を24人にした際にですね、1回か2回ぐらいの間に本来やっとなかん話だったんじゃないかなというふうに思います。

だから、コスト的に言えばですね、将来にわたってこれずっと2,400万払い続けるのかと、私はこれは幾ら何でもですね、財政的にはちょっと負担が大きいんじゃないかなと。宇和島にしても同日選挙ですし、本来この同日選挙に戻すべきだというふうに私は思います。

○佐々木議長 那須議員。

○那須議員 今、提案の段階でちょっと踏み込んで言われてますけど、そうではなくてね、ただ、2,400万というのは間違いです。2,400万かかりましたけども、同日選挙にしても、ある程度1,200、300、500万ぐらいかかりますのでね。それが全くなくなるということはないですね。

○佐々木議長 そういうことで。鷹野議員。

○鷹野副議長 もちろん同日選挙っていうのもあるんですが、それと一緒にですね、今議員の成り手不足云々っていうこともひっかけですね、議員報酬のこの見直し、これも同時に検討対象というか議論すべき、我々からするっていう、その外部委員会、そこら辺にも働きかけも必要だと思いますけど、同時にですね、これ、議員報酬についても検討して行ったらどうでしょうかと思うんですが。

○佐々木議長 分かりました。

山下議員。

○山下議員 議員報酬については、これは別、同時にするべきではない。別なまた場面でやるべきで、これはこれで分けてやるべきだと私は思います。当然してはいかんといけんと思うんやけど、同時進行は、私は反対いたします。

○佐々木議長 那須議員。

○那須議員 そのとおりで、別で、要するに鷹野議員が言いたかったのは、2,400万が減るんで、その分は議員報酬に割り当てても別に懐はそんなに痛まないということをお願いするんですけど、ただ議長はですね、特別職の報酬委員の中に元議員1人もいないんですよ。それは、理事者のほうに元議員を報酬審議会のほうに入れてくれと、1人でも2人でも、中身が分かってない人たちが議論するんですから、それは議長をお願いします。

○佐々木議長 分かりました。

石川議員。

○石川議員 私も同じような意見なんですけど、一度ですね、特別報酬委員会の方々を一度この議会に呼んでですね、どういう決め方をされているのか。やはりヒアリングした上でですね、この報酬についてですね、もうあの議員も、元議員も1人もいないし、入ってるのは銀行の支店長とかですね、全然愛南町の経済について詳しく、住民の意見も聞いとるわけじゃないような方々になっているというふうに私は感じてますんで、一度私は議長にですね、呼んでいただきたいというふうに思います。

○佐々木議長 分かりました。

○吉村議員 議長、1つだけいいですか。

○佐々木議長 吉村議員。

○吉村議員 実はこれ、大分前の、今、那須議員から意見出たんですけども、全員協議会でですね、報酬審議会に議員経験者入れるべきやいうことは決めたんですよ。要望したんです、当時。やけど、それを当時の議長が理事者に言うということやったんですけども、今聞いたら報酬審議会に1人も入ってないというのが現状。それが1点と、もう1点、古い議員さん知ってると思うんですけども、これは報酬審議会が決めることではあるけども、町長がですね、上げるいう話を、はっきり言うたいというて各議員、何人かからこの協議会の席で出とるんですよ、過去に。多分もう退職したけど3人ほどの議員から、町長ははっきり言うたと。言うたいことは、報酬審議会に町長のほうが出せば、あとは報酬審議会が決めることですね。でもそれが多分、言うたい話を聞いただけで出していないのが今の現状じゃないかと思うんで、その辺はまた協議の中で進めて。

○佐々木議長 分かりました。

同日選挙にその議員報酬も、合併後20年間据置きになっておりますので、全国的な問題でですね、報酬を上げろという動きになっております。この2つの問題は検討課題で、今後順次協議してまいりたいと思います。

○石川議員 ぜひ委員会を呼んでください。

○佐々木議長 よろしくをお願いします。

○少林議員 すみません、議長。

○佐々木議長 少林議員。

○少林議員 あと1年半後か2年後かの選挙について、今出ているので、ついでにほかのちょっと違うんですけど言わせてください。

初めて私も選挙して回ったときに、選挙カーでは自分の名前しか連呼してはいけなと。政策的なことを言っはいけなみたいないろんな縛りがございました。そうすると、住民の方々はその人がどういう考えを持ち、そういうことを基に考えるのでなくて、回ってみると、知り合いだからとか、親戚だからとか、同級生だからとかいう理由を非常にたくさんから得ました。ですからやっぱり、政治的なものに、もっと中身に、議員としての、そういうことを考えて投票するような町民になっていただきたいし、そこですね、何かと言うとですね……

（「議員の努力が足らんのだよ」と言う者あり）

○少林議員 ですから、議員さんたちが何を考えてるか分からない。それなら、みんなであちこち回ってですね、町民の質問を受けてそれに応えていくとかですね、そういうのを、せめて広報はきちっと出すと、政治の広報ですね。そういうのがあって、それぞれの人がどういうことを思っているのか、みんなに分かるような何かせんといけんのじゃないかと思います。

○佐々木議長 金繁議員。

○金繁議員 北海道の福島町が選挙にかかるお金を節約して効果を大きくするというために何をしたかという、今少林議員がおっしゃった選挙公報を出すということと、あの選挙はがきを、公選はがきってね、告示日にばーと出す、あれをやめたということでした。その代わりに選挙公報を出す。何百万円、900万円だったかな、節約できたということでした、御参考まで。

○佐々木議長 また選挙のやり方については、また後日、徐々に協議していきたいと思います。
金繁議員。

○金繁議員 最後にですね、今活発な議論になりかけて今後、今出たことにも検討していくと思うんですけど、3番の今日検討するはずだった福島町議会の視察研修を踏まえた検討この4点、これねぜひ優先的に、もう視察を終えて1年半たちますし、議長も所信表明で入れられてるポイントですので、ぜひここを来月、必ずこれを優先的にお願いします。

○佐々木議長 先ほど言ったように、1日みっちり取りますんで、日程を。そのときに決めてください。

ほかにありませんか。

中野議員

○中野議員 ちょっと先日、内海の小学校の統廃合の件なんですけど、あのときはちょっと統廃合を進めて保護者の方が、須ノ川の内海中学校ですよ、あそこをリフォームするって、何か強い要望があったのかと思って水を差してはいかんと思って、そういう状態なのかと思ったら、後で聞くとですね、これ聞いた話なんで事実かどうか分かりませんが、議員やら一般の方々もちょっともったいないねいう意見もあったりして、保護者だけがそれを要望しただけではないような話も聞いたりするんですよ。ほいで僕も個人的には内海小学校、柏小学校ですかね、あたりに行くのが一番合理的で、リフォームとかもそれほどかからんと思うし、あと維持も、通学バスですよ、そんなのも考えるとそれが一番合理的やない個人のあれはあったんですけど、他地域のことでよく事情も分からんと思ったら、どうも一般の方やら議員の方に聞くと、ちょっとそうでもないような意見もあったんで、これ事実、やっぱり1億3,000万も1億4,000万、あとプールの改修もありますし大きな金額になるんですけど、これ事実はどうなのか、もうちょっとしてこれ予算が理事者側から上がってきて、もろ手を挙げて賛成ですという方向になるのかどうか、ちょっとこれはもうちょっと慎重にそのあたりどうなのかいうのをみんなが共有して、そこでいいなら賛成する、駄目なら、やっぱりこれはもったいない話になるのが筋じゃないかと思うんで、もうこれ今年度あたりにひょっと出てくるんじゃないかみたいな感じがあるんで、それまでに1回議長を中心に、そういう方向で調査して、調査とか話合っていくのか、あるいは特別委員会なりが可能であればつくってやっていくのか、皆さんの意見を、ちょっと僕だけの意見ではあれなんで、ちょっと一部、個人的にあればとみんなちょっとそれは予算も大きいしみたいな意見も多かったように思うんで、ちょっと皆さんの意見を聞いていただけたらと思います。

○佐々木議長 分かりました。

○中野議員 あともう1点、これはもっとせっぱ詰まっておるんですけど、先日説明あった生涯学習課からの先進的海洋センターですかね、整備事業。10億円のB&Gの、あれちょっと聞くと、えらい差し迫って、9月末ぐらいまでで2か月の間に白紙状態で今からアイデアを出してみたいな感じだったんで、果たしてその大きな事業、10億円は最大ですけど、どういう事業が出てくるのか、いいアイデアが出てくれば、何でも駄目だって話ではないですけど、箱物を造ってまたこれが補助が下りるから10億、建物ただから、後のことを考えずにとにかくやりましょうみたいな雰囲気もちょっと受けたんですよ、個人的にそう感じたんで、皆さんどう感じたのか。これもうちちょっとやることありきではなくて、いいアイデアが出ないとか何かなった場合には、あと維持管理の部分に大きい部分が出てくる分に関しては、もうちょっと慎重にやってほしいという申入れを、僕の意見ですけど皆さんの意見も聞いて、議長あたりから、そういう議会、議員の議会のあれも意見もありましたいうのを申入れでもしていただけたらと、僕個人的にはそう思ったんですけど、そのあたり皆さんの意見を聞いていただいて。

これ例えばいろんな話もあって、例えば、石川議員ですかね、ある議員さんも、だけど、水族館でもいうて、とても1か月2か月でそんな計画ができるような、もしやるにしてもですよ、

なかなか2か月ぐらいでそんなのが果たして計画をやっているのかいうて、2か月ぐらいで、これ本当差し迫った、期間が短いし、そんな簡単に出てくるのかなというちょっと心配があります。

そこらあたり、皆さんの意見を聞いていただいて、本当にそれ、もうやるのありきでやっていいのかなというちょっと心配をしてるんで、ちょっと皆さんにその2点聞いていただいたらと思います。

○佐々木議長 分かりました。中野議員のさっき今言われたことも、また今度の協議会で、全員の意見をちょっと聞いてみたいと思います。

(発言する者あり)

○中野議員 ちょっといいですか。この統廃合の部分に関してはまたもうあれですけど、まだちょっとやけど、このB&Gの件に関してはもう2か月ですよ。ちょっと、ざっとでも、申入れだけでも、心配の意見がありましたよ言うのか、皆さんそれ心配してないのか。ちょっとそこらあたり、さらさらっとでもちょっと短い時間で意見でも聞いていただいて。

○佐々木議長 どうですか、皆さん。

金繁議員。

○金繁議員 2点とも私は緊急に話し合うべきだと思います。町民の方から相当、地元の内海地域だけでなく城辺、御荘の方たちからも内海地域の内海中学校の改修については、ちょっといろんな異論が出ています。なので特別委員会をっていう中野議員の意見に賛成で、今日議論すべきだと思います。

2点目の海洋センターについても、これは特別委員会なのか、こういう協議の場で教育委員会に説明してもらおうのでいいのか分かりませんが、それもやるということ、協議するということ、するのかどうかということ、今日決めてしまったほうが、また8月になってたらもうどんどん計画が進んでいくんで、緊急だと思います、2点とも。ぜひ今日ここで議論いただきたいと思います。

○佐々木議長 皆さんどうでしょうか。

那須議員。

○那須議員 内海中学校を利用することについての、PTAでの正式な申入れがあったかどうかというそれはないですね。ただ個人的に地域エゴというか、それで会議の外で、個人的に議員さんらに言ったかもしれませんが、少なくとも私は家串小学校のPTAの総会、地域の人たちを含んだ集まり、それから柏小学校にも両方出ましたが、その会議の中では統合ありきという形で終わったように思います。地域の人たちもそこで納得しました。ただ、魚神山の校区は、お子さんもない、お孫さんもない、ひ孫さんもない人が反対をしましたね。そのときにはPTAじゃなくて保護者の人たちにはたしなめられました。おじいちゃん黙ってと、あんた関係ないやろうと。ということで、それは地域エゴは出ますよ、一人一人聞けば。でも全体ではそういうことはないですよ。だから統合しましょうという形になったと思いますし、1億4,000万の中身は、あれは統廃合については国庫補助が出ますので、2分の1出ますので、減額されるだろうと。柏小学校に行った場合は、スクールバスがあそこは入り切れませんので、民地を買わないといけない。いろいろとやると、やっぱり何千万かかるわけです。私はいろいろと、内海の出身ですから、教育委員会とも話しました。今度新しくできる内海小学校の校歌を夏井いつきに頼んだらどうやと、私は昔から知り合いですからお供しますよということまで言って、そのことで今度の合併する内海小学校はいい小学校になるし、地域の人たちも、特に児童は喜んでと思いますから、議会がもう決まったことを特別委員会までつくって横やり入れるのは、私はこれはちょっとやり過ぎだというふうに思います。

○佐々木議長 金繁議員。

○金繁議員 那須議員はいろいろとね、地域に詳しい情報をお持ちで、まさにそこが問題だと思う

んですね。那須議員のみが知っているという点が。やはり議会がしっかりとその情報を共有して、やはり町民にしっかりと説明できないといけない。私たちそれぞれが町民全体の代表者なので、那須議員だけが知っている情報というのを、しっかりと共有するための特別委員会を立てるべきだと思います。

1点、町民の方から、特に地元の方たちから統合ありきで決まったという話なんですけれども、確かにその時点、去年の時点で説明会を私も聞きに行きました。魚神山と須ノ川、内海中学校であった説明会を傍聴しましたがけれども、そこで一旦はおっしゃるとおり決まったかのようになったんですが、その後保護者の方たち、地域の方たちに教育委員会は説明に行ったでしょうか。行ってないんですよ。ですので、内海中学校を柏小学校、家串小学校を合併したものに改修しますと、あそこにしますという話をしてないんですよ。そしたら今、何が地域の人たちで話されているかという、柏小学校の子供たちは、内海まで行くよりも平城に行くでしょうと。そしたら、家串の保護者たちが、それだったらそもそも合併する、統合する必要はなかったんじゃないかと。柏の子らが向こう行くんやったら私らは家串を残してほしい、そういう蒸し返しの議論にどうしてもなってしまうんですよ。そこが一番問題で、決まったことをちゃんと教育委員会が地元で説明をしていない、納得を得ていない、議会も分かっていない、そのために特別委員会を私は設置して、しっかりと協議するべきだと思います。

○佐々木議長 石川議員。

○石川議員 この内海小学校、仮称ですけども、統廃合についてですね、私もいろいろ調べてみたんですが、それが前回のですね、一般質問だったんですけど、実際、この統廃合によってですね、新たな補正予算を組まないと、予算を組まないといかんと。柏小学校でも家串小学校でも現在使える。だから2校を閉校してですね、新しい予算をつけてですね、中学校を改修するというのは、これは僕は死に金じゃないかなと。やはり議会としてですね、生きたお金を使っていたく、そういう観点からですね、私は一般質問で反対だというふうに言わせていただいたんですが、その中でですね、アンケート調査を教育委員会のほうがですね、令和2年の2月に行ってます。これはもう、今5年ですからもう3年経過してですね、その当時の保護者は、1・2年生が残ってるということですね、もうほとんどの保護者の方、生徒の方が卒業されてるということにはなっておるんですが、大半の意見がですね、統廃合に賛成かというんですね、アンケートの結果から言うたらそうじゃないんですね。私、8割ぐらいが統廃合に賛成なのかと思ったらですね、積極的に賛成だというのはですね、4割ぐらいしかないんですよ。あとはもう仕方ないとか、反対だという意見なんですよ。

だから今まで教育委員会が説明してきたことがですね、保護者が賛成やからということなんですけども、アンケートの実態を見たらそういうことになってないです。だから私は、これ特別委員会もしくは予算特別委員会を、この件だけでですね、私は調査する必要があるんじゃないかなというふうに私は思います。予算を議決するのは議会ですから、その議決するに当たってですね、これはしっかりと議論と調査が私は必要だというふうに思っております。

○佐々木議長 ほかに。中野議員。

○中野議員 ちょっと言い忘れたんですが、須ノ川、内海中学校ですよ。する場合にもう子供の環境としては、隣近所、ゆらりがあったり、キャンプ場があったり、不特定多数の人が入ってきますよね。するとやっぱり連れ去りやら今そういう時代にもなってますから、そういう環境から言うと、内海中学校が、小学校、柏小学校がもうどういう関係なのか、どちらかというと、漠然とですが、何かそういう面からしても柏で環境が悪くないんじゃないかなという感じも持っていました。

それともうあと1点、ある議員が言われたんかな、また再利用する場合にも、今柏小学校そのままほってしまうと、あまり再利用の部分で言うと、バスも入らんみたいであれば、あと再利用に何かになった場合でも、今の内海中学校を置いといたほうが、また何かの折にゆら

りがあったり、町の施設もあります、キャンプ場があったりすると、再利用の部分でもまたそういう可能性も高まっていくんじゃないかと思って、これ漠然とで、僕は地域ではないんで、詳しいことは分かりませんが、ちょっと言い忘れましたんで、そこらあたりも踏まえて、ちょっと皆さんの意見聞いていただいたらと思います。ちょっと環境を見ると国道も走ってますし、内海中学校、ちょっと環境、どちらかというとなのかなという感じは思っていました。

以上です。

○佐々木議長 山下議員。

○山下議員 先ほど金繁議員が那須議員しか情報を知らないのは、何かおかしいという発言した、私もまだ発言してないんですけど、私もそういう一部の、本当に一部の方の反対がある、柏でもある、家串・魚神山地区でもあるというのは聞いております。だけどこれ、何をするにしても、全会一致で決まるということはほとんどまずありません。だから今回、私一番は、その一番何を重点的に考えんといけんかということは、地域ですよ、地域。柏地域と家串地域の保護者が合併をしようと、あと何回も開いて熟慮熟慮、いろいろ意見交換した中で、もう内海中学校に新しい小学校をつくるんならということで統廃合、もう決まったと思うんですよ。決まって動きよんですよ。

誰か知らんけど首、変に振りよる人もおるけど。だからやっぱりこの議会が議論するのは、統廃合の位置を地域が決めたんで、地域が決まってその中の何、建設の方法とか、建て方、それに対して議論するならまだいいんですが、それをまた、元に戻してそこどうやけん柏がいいとかどこがいいとか、そういう議論は私はおかしいと思います。

○佐々木議長 那須議員、意見あるんやないですか。

那須議員。

○那須議員 石川議員が死に銭って言いましたけども、非常に無礼な言葉で取り消していただきたいと思いますがね、家串小学校も小学校のPTAも、それから柏小学校のPTAも、須ノ川には行きとうないですよ。ただ、複式学級をしないといけないんでかわいそうだから、だから一つになろうとしたときに、普通なら距離的に家串小学校が真ん中ですよ。その家串小学校の人たちが、ここだと柏小学校の子供たちは来るのは嫌だろうと、須ノ川なら昔から保育園、小学校、中学校の合同運動会をやっていますので、須ノ川、中学校がなくなったら、そこを利用できるからそこならいいでしょうと。家串小学校も柏小学校までは行きたくないと、これははっきり言いよるんですよ。ただ、子供たちのために須ノ川だったらいいですよということで話がまとまったんですよ。国庫補助が半分2分の1出ますんで。だからそれでいいじゃないかと、今さらですね、場所を家串に変えろ、柏小学校に変えろっていうのは、これはちょっと議会としてはやり過ぎですよ。

○佐々木議長 金繁議員。

○金繁議員 先ほども言ったことの繰り返しになってしまいますけど、おっしゃるように話はまとまったかもしれませんが、その後、内海中学校を改修して使いますということを地域の人にも説明していません。1億4,000万かかりますということも説明していません。そしてその1億4,000万というお金を使うのは、そのお金は内海の人だけではなくて、もちろん内海の人にも一番関係ありますけど、町民全体に関わることです。ですので、町民全体の視点から検討、特別委員会を立てて協議するべきだと思います。教育委員会が聞いてくれない、説明に来てくれないからこそ、二元代表である議会こそ、地元の人、そして町民の意見も聞いて、公聴会も行なりしてしっかりと協議しないと、これ議会の信用も失うことになると思います。

○佐々木議長 石川議員。

○石川議員 先ほど御指摘があったので、死に銭ということは訂正してですね、生きたお金ではないということに訂正させていただきたいと思います。

○佐々木議長 中野議員。

○中野議員 大体同じ人が言うてもいかなので、全体もうちょっと簡単でもええですが、皆さんどう思われてるのか、もうこれ要らんことなのか、もう皆さんの意見もちょうと。

○石川議員 今日決めないで・・・。

○中野議員 ちょっと意見をさらっとでも、決まらんでも。

(発言する者あり)

○吉田議員 今日ですね、唐突にそういう形の議論があってもですね、ここでは多分決着はつかないんだろーと思います。ここまで聞いてですね、私も町民の意見いろいろ聞きまして、一つだけ、統合についてはこれはもう全然反対をしてないんです。もう決まったことについては、我々議会は言えません。ただし、お金の問題については、我々がきちっとですね、理事者に対してこれが適正なのかどうかっていうのは、我々が聞いていかなきゃならない問題なんですね。

今、何が問題かっていうと、我々も知らなかったんですが統廃合をした上で、新たに小学校をですね、中学校から小学校に改装してそこに1億幾ら費やすということは、我々は知らされてないわけですよね。そこはやっぱりきっちりこの際ですね、町民の意見もそうだし、議員間の中でもこういうふうな意見が割れてるわけですから、そこは特別委員会を設置するかどうかは別にして、やっぱり町民の意見として、そこはやっぱり何か議論すべきではないかなと。

ただ、今日の今日で、多分これは難しいと思いますんで、改めて再度開催してほしいなと思います。

○佐々木議長 分かりました。

改めて開催いたしますのでよろしいですか。

(「はい」と言う者あり)

○佐々木議長 金繁議員。

○金繁議員 その際にいつまでにするかなんですけど、もう8月末には9月予算出てきますよね、補正。9月補正の中には、この前入ってなかった内海中学校の校舎本体ではなくて、今度プールの改修の予算が出てきます。もう着々と教育委員会はそうやってね、内海中学校改修前提で進めているわけで、いつやりますか。これ8月中旬までには、協議会で、全協で、中野議員の提案をやるかどうか決めないといけないと思いますが、いかがでしょうか。

○佐々木議長 事務局、日程。8月の日程。

(発言する者あり)

○佐々木議長 本多事務局長。

○本多事務局長 日程的にはですね、8月の7、9、10あたりはどうかというふうに考えているんですが、いかがでしょうか。

○佐々木議長 そういう事務局からの説明がありましたが、早いうちに7日ぐらいどうでしょうか。

(発言する者あり)

○佐々木議長 吉田議員。

○吉田議員 福島町の我々もあのメンバーでしたけど、そこまで急ぐ必要はこれ全くないと思いますけど、すぐ結論出るわけじゃないし、これは別にもうちょっと余裕があるんじゃないですかね。次回にしないで私もいいと思います

○佐々木議長 じゃあ7日は今の件に関して、また・・・。

○金繁議員 福島町議会急ぐ必要がないという意見も出たんですけど、もう1年半前の視察です。町民の方からも要望が出ていることです。急いでやるべきだと思います。せめてですね、この1番、全ての会議を公開するかどうかだけでも入れてください。そんなにかからないと思います、20分もあればできると思います。

○佐々木議長 時間が余ればということにしましょうか。

○金繁議員 いや、これ1だけは入れてください。お願いします。議長の公約でもありますので。

○佐々木議長 中野議員。

○中野議員 2番の2つ目の分、先進的海洋センター整備事業の部分についてもやるんですかね、その日に。それはもう9月末ですよ。せめて皆さんの意見だけでも、自分で考えていただいて、それはもうそのままでいいのか、やっぱり全員の意見が一致すればこういう心配事をしてますというのを。

○佐々木議長 暫時休憩します。

(休憩)

○佐々木議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほど金繁議員、石川議員から提案がありましたが、協議会、一応8月の9日9時から開催をすることに決定しましたので、よろしくお願いいたします。

以上、ほかに。

(「なし」と言う者あり)

○佐々木議長 そしたら副議長。

○鷹野副議長 長時間にわたり御審議いただきましてありがとうございます。まだまだ、今、問題点等が見つかってまいりました。皆さんもうちょっと一緒に考えていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして第8回全員協議会を終了いたします。お疲れでございました。

議長